



交通

寿老尊(長昌寺)

秋・葛
大里郡寄居町牟礼 383 ☎048(582)0711
▶東上線男衾駅より徒歩約25分

恵比寿神(常楽寺)

尾花
大里郡寄居町赤浜 860 ☎048(582)0303
▶東上線男衾駅より徒歩約10分

大黒天(常光寺)

ききょう
大里郡寄居町折原 605 ☎048(581)2038
▶寄居駅より徒歩約35分

毘沙門天・弁財天(極楽寺)

藤袴・なでしこ
大里郡寄居町藤田 249 ☎048(581)0528
▶寄居駅より徒歩約20分

布袋尊・福祿寿(蓮光寺)

おみなえし
大里郡寄居町土 798 ☎048(584)2676
▶東上線玉淀駅より徒歩約40分
▶JR八高線用土駅より徒歩約15分
▶東武バス本庄行田中バス停より徒歩約10分
▶秩父線桜沢駅より徒歩約20分



◆七福神由緒◆

寿老尊・長昌寺

寿老尊は短身・長頭で美しいけをたくわえ、やさしい老人の姿をした長寿を授ける福神です。

大きく開いた右手は人々の災難を除き、清らかな心で導くことを意味しています。巻物には人間の寿命の長短、体の強弱が記録されています。そばにいる安座は神聖な生き物で、健康・長寿の願いをきかせる福徳を表わしています。短身・長頭の体つきはお互いに助け合うことにより長寿に恵まれる福徳を授けています。

恵比寿神・常楽寺

恵比寿神の福徳は神慮のこもる両手に示されています。左手の鯛は「めでたい」海に幸でその年の家門繁栄、商売繁盛の福運を授ける心を表わしています。右手の釣竿は信心する信徒を災いや障りから離れさせ、幸せに釣りける「勢い」を意味しています。

大黒天・だいくてん

大黒天の福徳は右手の小楢、背中の大きな袋、そして足下の俵に示されています。小楢は「うで」の小楢といひ、振れば振るだけ財宝を施し、背中の大きな袋は無限の知恵を内蔵して学業上達、出世成功に導き、足下の俵は農事に不自由のないように農作物、野菜の豊作を表しています。

大黒天は台所の守り神として女性の尊敬を集め、古来より恵比寿神と並んで生活の智慧を授ける裕福の神として知られています。緑日は六十日毎の申子の日です。

毘沙門天・びしゃもんてん 弁財天・べんさいてん

弁財天は「最勝王経」に説かれ、古くは弁才天とも書きました。「新編武蔵風土記」にも当山弁財天の記録を見ることが出来ます。天部の仏教守護神として聖天は特に深い関係にあり、七福神では唯一の女神、琵琶を手にした財福・学問、縁結の福神として崇められております。当山には八臂の像もあります。

毘沙門天は四天王、また十一天の一神に数えられています。インドでボタナ王が毘沙門天に祈って世嗣に恵まれた話や、中国での玄宗皇帝が毘沙門天に祈って外敵を敗走せし、王城の門に毘沙門天を守護神としてまつるようになった。日本では聖徳太子が四天王寺におまつりしたのが最初で、弘法大師が東寺におまつりしてより多くの寺院に安置されてきました。当山には尊身大の古い毘沙門天の青板碑が現存します。

布袋尊・ほていそん 福祿寿・ふくろくじゅ

布袋尊は中国唐末九・十世紀の高僧の名を契にといひ、弥勒菩薩の化身として衆生をお救いくださいました。身体が大きく腰を出し、常に大きな布袋を提げ、市中を歩いては人の運命や天候・吉凶を予知するなど、不思議な力をそなえています。豪快な笑顔、福々しいお姿は些細なことでも知らず、子孫長久、「家庭円満」をもたらす神様として知られています。

福祿寿は寿老尊と同じともいわれ、南極老人星の化身で「招福(幸福)」「招祿(財運)」「招寿(長寿)」の三つを司る七福神です。

七福神めぐり

- 寄居ゾーン・男衾ゾーンと距離がありますので電車等の利用がおすすめ!
- がんばって1日というのも良いですが、じっくりめぐるのも、またよろし。
- 各寺廻り順は決まっていません。どこから巡ってもあなたのコース。
- 各時間は、おおよその目安です。自分ペースでどうぞ。
- は、徒歩コース。
- 車では、コマ図矢印に従ってください。

